

1.法人運営事業

1. 理事会（4回）

1. 平成20年5月23日（金）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・専決処分の報告について
 - ・平成19年度事業報告の認定について
 - ・平成19年度決算の認定について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について

2. 平成20年9月19日（金）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成20年度一般会計9月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会顕彰者の選考について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について

3. 平成20年12月12日（金）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成20年度一般会計12月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について

4. 平成21年3月17日（火）・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成20年度一般会計3月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会事務局の組織に関する規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会臨時職員等の就業規程の一部を改正する規程について
 - ・平塚市地域福祉活動計画（案）について
 - ・平成21年度事業計画案について
 - ・平成21年度一般会計当初予算案について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について

2. 正副会長会議（0回）

重要議題が無いため、開催せず

3. 監事会（1回）

- 平成20年5月16日（金）・・・福祉会館 第2会議室
- ・平成19年度事業報告の監査
 - ・平成19年度決算書類の監査

4. 評議員会（4回）

1. 平成20年5月30日（金）・・・勤労会館 中会議室
 - ・平成19年度事業報告の承認について
 - ・平成19年度決算の承認について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について
2. 平成20年9月26日（金）・・・勤労会館 中会議室
 - ・平成20年度一般会計9月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について
3. 平成20年12月19日（金）・・・勤労会館 中会議室
 - ・平成20年度一般会計12月補正予算について
4. 平成21年3月24日（火）・・・勤労会館 中会議室
 - ・平成20年度一般会計3月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事辞任に伴う後任理事の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会事務局の組織等に関する規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会臨時職員等の就業規程の一部を改正する規程について
 - ・平塚市地域福祉活動計画（案）について
 - ・平成21年度事業計画案について
 - ・平成21年度一般会計当初予算案について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会監事の選任について

5. 計画策定・進行及び各種委員会

各種委員会を次のとおり開催した。

1. 総合企画委員会（委員 11人）
 - 平成20年7月29日（火） 通算第31回
 - ・広報委員会報告
 - ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画について
 - 平成21年2月27日（金） 通算第32回
 - ・平塚市地域福祉活動計画(案)について
 - ・計画の進行管理及び事業運営評価事業について
2. 広報委員会（委員 10人）
 - ・第101号「福祉だよりひらつか」の内容について
開催日 6月 3日、6月17日
 - ・第102号「福祉だよりひらつか」の内容について
開催日 8月27日、9月24日

- ・第103号「福祉だよりひらつか」の内容について
開催日 1月13日、2月5日

3. イベント実行委員会（委員 11人）

開催日 7月29日、10月9日、2月27日

4. 仮称第3次平塚市地域福祉推進計画策定委員会（委員 11名）

平成20年7月29日（火）

- ・平塚市地域福祉計画関係のアンケート調査結果について
- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定について
- ・計画策定のスケジュールについて

平成20年10月9日（木）

- ・（仮称）第2期平塚市地域福祉計画の素案について
- ・神奈川県下及び近隣社協のNPO等会員加入状況等について
- ・平塚市地域福祉活動計画の骨子について
- ・平塚市地域福祉活動計画第1章案について
- ・今後のスケジュールについて

平成20年12月3日（水）

- ・平塚市地域福祉活動計画の素案について
- ・今後のスケジュールについて

平成21年2月27日（金）

- ・パブリックコメントについて
- ・平塚市地域福祉活動計画(案)について
- ・今後のスケジュールについて

5. 仮称第3次平塚市地域福祉推進計画策定作業委員会（委員 12名）

平成20年5月29日（木）

- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定の進め方について
- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定スケジュールについて
- ・平塚市社協の使命、理念等について
- ・事業展開の基本的な考え方について

平成20年6月27日（金）

- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定スケジュールについて
- ・実施計画のあらまし(案)について
- ・町内福祉村事業について

平成20年7月17日（木）

- ・仮称第3次平塚市地域福祉推進計画の策定スケジュールについて
- ・実施計画のあらまし(案)について
- ・計画書の目次(案)について

平成20年9月11日（木）

- ・（仮称）第2期平塚市地域福祉計画の素案について
- ・（仮称）第2期平塚市地域福祉計画と平塚市地域福祉活動計画の整合性について

平成20年10月3日（金）

- ・（仮称）第2期平塚市地域福祉計画の素案について
- ・平塚市地域福祉活動計画の骨子(案)について
- ・今後のスケジュールについて

平成20年11月27日（木）

- ・平塚市地域福祉活動計画の原案について
 - ・今後のスケジュールについて
- 平成21年2月23日(月)
- ・パブリックコメントについて
 - ・平塚市地域福祉活動計画の素案について

6. 研修事業

1. 視察受入れ

(1) 福祉部及び健康・子ども部新任職員施設見学 35人

2. 実習受入れ

(1) 社会福祉援助技術現場実習

- ・東京福祉大学 1人(12日間) ・神奈川社会福祉専門学校 2人(10日間)
- ・全社協中央福祉学院 1人(12日間) ・Y M C A福祉専門学校 1人(12日間)

(2) 福祉事務所実習

- ・東海大学 2人(1日間)

3. 市社協職員対象自主研修

(1) 普通救命(AED)講習 31人(8日間)

7. 後援・協賛事業

1. 次の事業に、後援・協賛した。 38件

1	みんなの未来はみんなでひらく(本人のつどい)	20	平塚・大磯・二宮地区里親講座
2	ユースボランティア2008	21	2008浅間祭
3	第29回ともしびポスター・第22回ともしび絵本コンテスト	22	第37回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会
4	ユニセフ写真展	23	第57回神奈川県社会福祉大会
5	第16回ユニセフ夏休み子どものつどい	24	KANAGAWA AUTUMN FESTIVAL 2008
6	ゆめかながわスポーツ健康シニアフェスタ2008	25	福祉芸能の集い第17回チャリティ公演
7	24時間テレビ平塚地区第22回街頭募金	26	幼児総合型スポーツクラブ おたのしみコース
8	第13回舞踊愛好会チャリティ大会	27	2008フォト四季写真展
9	第31回車椅子バスケットボール秋季大会	28	第3回ひまわりカラオケ大会
10	「子どもの育ち・発達を支援する」連続講座	29	次世代育成セミナー「子育ては未来創り」
11	第11回神奈川県電動車椅子サッカー大会	30	25周年大門三郎新春チャリティコンサート
12	2008チャリティヘアショーユナーフェスティバル	31	平塚市共催事業「災害時の要援護者支援体制を考える」
13	友情列車「湘南ひまわり号」	32	第44回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会
14	「ふるさとをください」上映会	33	第12回ドリームカップ
15	第13回湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティ公演	34	ミュゼ主催第11回チャリティコンサート
16	第13回福祉芸能チャリティ公演	35	市民公開講座及び無料相談会(3月)
17	神奈川県自閉症児・者親の会連合会巡回作品展	36	第9回「湘南ひらつかマジシャンズ」発表会
18	市民公開講座及び無料相談会(11月)	37	第14回YES,愛,DO!音楽祭
19	第4回湘南フラ・チャリティinひらつか	38	第24回平塚愛唱会

8. 事故発生報告 合計 33件

1. 提供サービスにおけるもの	27件	
子育て支援センター関係	1件	
・利用者子どもの怪我等		1件
老人福祉センター関係	7件	
・事業センタードアの破損		1件
・利用者体調不良による救急車要請		1件
・火災報知機の誤作動		1件
・機械警備の誤作動		3件
・福祉会館男性浴槽レジオネラ属菌検出による使用停止		1件
栗原ホーム関係(地域包括支援センター含)	19件(うち救急車要請3件)	
・訪問先で利用者が亡くなっていた等		3件
・訪問先で利用者の怪我等		1件
・訪問先での器物破損等		10件
・配食サービスにて異物混入		2件
・通所介護活動中利用者の怪我等		3件
2. 業務にかかわるもの	6件	
・職員細菌検査によるサルモネラ保菌者検出		1件
・訪問活動中の職員の怪我等		2件
・配食活動中の車両事故		1件
・通勤途上の自動車事故		2件

9. 情報公開 申請件数4件 (公開件数2件 取下げ1件 次年度へ継続1件)

南部福祉会館機能回復訓練用プール運営業務委託契約書及びプール運営業務仕様書(一部公開)

平成19年度介護保険事業者(平塚栗原ホーム)事故報告書(一部公開)

苦情解決要綱第5条(2)の様式第2号本人苦情文書(取下げ)

理事会・評議員会議事録過去5年間分等の文書公開申請(継続)

(平成21年4月13日取り下げ)

10. 苦情処理 合計 20件

総務企画グループ関係	6件	
・職員の文書公開の対応について		6件
施設管理グループ関係	2件	
・職員の電話対応について		1件
・南部福祉会館の身障駐車場に市の公用車が駐車してあった		1件
栗原ホームグループ関係	12件	
・ケアマネジャーの対応不満		2件
・通所介護の利用者から送迎時間の対応について		1件
・訪問介護の利用者からヘルパー等の対応について		6件
・訪問介護の利用者から異物混入について		1件
・配食サービスの利用者から異物混入について		2件

2. 広報啓発事業

1. 福祉だよりひらつか発行

市民に社協事業を始め地区社協、ボランティア、福祉施設、福祉団体等の活動状況を紹介して地域福祉及びボランティア活動の推進、育成等を図る広報紙を年3回発行した。

	発行日	発行部数
第101号	7月1日	85,500部
第102号	11月1日	85,500部
第103号	3月1日	85,500部

2. 啓発宣伝事業

1. 福祉イベントの開催

平塚市社会福祉協議会がめざす『誰でも可能な限り、住み慣れた地域で、家庭生活が安心して営めるようにする』基本理念をメインテーマとして、「社会福祉法」で明確化された『地域における社会福祉の推進を図る』ことを目的に開催する。具体的には、総合公園にて「福祉フェスティバル」を実施した。また、福祉会館及び中央公民館にて「福祉まつり」を開催し、福祉に対する理解と、参加意識の高揚を図り、さらに、多くの市民に社会福祉協議会の事業や役割を広く周知することを目的に実施した。

(1) 福祉フェスティバル(ともしび運動推進事業) 1,180,931円

市民一人ひとりに福祉の心が根つき「ともに生きる」福祉のまちづくりが広がるように市主催の健康フェスティバルと同時開催した。

共催 第32回心身障がい児者レクリエーション大会
開催日 10月19日(日)
会場 平塚市総合公園内平塚のはらっぱ
参加者 約13,000人
内容

- ・ミニ運動会(パン食い競走、動物パズル競走、視覚障がい体験ウォーク、たまいれ、おたまで運んで借り物競走、車いす体験ウォーク)
- ・手作りゾーン(老人クラブ連合会による竹細工、折り紙細工等、地域作業所連絡会他によるロウソク作り等、地域作業所自主製品販売)
- ・ふれあいゾーン(子育て情報コーナー、母子福祉なでしこ会による母(父)と子の交流コーナー、東京電力(株)によるレク・展示コーナー)
- ・ふくし学べるゾーン(ともしびコーナー、ボランティア情報コーナー、ボランティア福祉体験コーナー、地域福祉コーナー、補助犬ふれあいコーナー)
- ・とくとくゾーン(福祉バザーの実施)
- ・ウェルカムゾーン(抽選会)
- ・特別参加企画(補助犬デモンストレーション)

(2) 福祉まつり 1,166,174円

福祉情報の提供・啓発、ノーマライゼーションの普及、福祉施設の紹介・地域作業所自主事業製品の販路拡大、世代や親子・障がいの有無にもかかわらない交流、生きがいの場の提供、社協の活動事業や役割紹介などを目的に福祉まつりを実施した。

開催日 11月20日(木)～22日(土)

会場 福祉会館、中央公民館（ギャラリー、小ホール）

参加者 4,848人(うち、社会福祉を考えるつどい158人)

内容

・社会福祉展部門

292,756円

市内社会福祉施設の紹介、作品の展示を行った。展示用パネルについては、地域の福祉まつりや公民館まつりなどに貸出した。

出展施設：高齢施設 8 ・ケアセンター 8

障がい施設 13 ・保育園 31

合計60施設

作品出店数：高齢施設 174 ・ケアセンター147

障がい施設224 ・保育園 62

合計607作品

来場者数：延べ357人(うち19福祉施設)

・福祉会館まつり部門

208,830円

福祉会館において活動しているサークル等の作品展示、催物、カラオケ大会、お茶会など成果の発表及び市内地域作業所の自主製品の即売、模擬店、体験コーナー等を実施した。

展示関係 福祉会館 延べ出展人員 349人

延べ出展数 908点

催物関係 福祉会館 演芸出演人員 280人

カラオケ大会参加者人員 78人

体験コーナー参加者延べ人数 16人

・社会福祉を

考えるつどい部門

558,163円

永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、平塚市・平塚市社会福祉協議会の共催により社会福祉関係功労者の表彰式と社会福祉の啓発を目的に講演会を22日(土)に実施した。

第1部 表彰式典

第2部 講演会

講演者 矢崎由美子氏

題名 『命の重さと人のやさしさ

阪神淡路大震災の被災体験から』

・あそびの森

95,425円

地域のボランティアとともに、すべての人々が、世代を超えて交流するイベントとし、おしゃべりや情報交換の場として「出会い・ふれあい・学びあい」をテーマに企画・実施した。

11月20日

3Fわくわくひろば 「ふたつのトーク会」 34人

・「小児科のお医者さんとのトーク会」 17人

・「保健師さんとのトーク会」 17人

4Fおもちゃのひろば 親子176組 393人

11月21日

3Fわくわくひろば 「ふたつのトーク会」 39人

・「小児科のお医者さんとのトーク会」 19人

・「保健師さんとのトーク会」 20人

4Fおもちゃのひろば 親子149組 340人

会場 平塚市中央公民館(和室、会議室、小ホール)

参加者 : 合計 806人 保育 : 94人

2. ともしび運動推進事業

(1) 障がい者週間キャンペーン 54,016円

障がい者に対する理解ならびにともしび運動啓発のため、平塚市障がい者団体連合会と協力し、啓発イベントとして、車椅子バスケットボール選手によるデモンストレーションとトークショー、車椅子体験を行った。

実施日 12月6日(土)

場 所 県立平塚ろう学校・体育館

参加者 188人(車椅子バスケ選手8名)

(当事者団体、障がい福祉施設、地域作業所連絡会、民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡会、市、市社協)

内 容 車椅子バスケット・デモンストレーション、体験、トークショー

(2) 「ふたごみつご達のひろば」

「ふたごみつご達のひろば」については、P14に掲載 52,870円

3. 市社協ホームページ「ひらつか社協どっとねっと」の運営

<http://www.hiratsukasyakyo.jp/>

3. 顕彰(敬称略)

1. 社会福祉を考えるつどい2008(11月22日:中央公民館小ホール)の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 平塚市長表彰(5人)

自立更生者

・山口和子 ・伊藤信行

更生援護功労者

・小川八ルヒ ・戸村光男 ・戸ノ下成子

(2) 平塚市社会福祉協議会会長表彰(13人)

地区社会福祉協議会

・黒石裕子 ・吉川成子 ・椎野文子 ・佐々木悦子 ・今井カホル

・小泉久代 ・長島敏江 ・小泉登美子

民生委員児童委員

・岩崎俊一 ・河間洋子 ・松田茂子

保護司

・小林昇三 ・大山岩彦

(3) 平塚市社会福祉協議会会長感謝 (24人 3団体)

地区社会福祉協議会

- ・吉田ハツ江 ・崇善地区社会福祉協議会老人給食奉仕会 ・小野順江
- ・湯澤ツヤ子 ・高橋トシ子 ・鴨志田あけみ ・佐藤明己 ・石川洋子
- ・原田温子 ・相澤澄江 ・相原治夫 ・駒形ヨキイ ・相原嶺子
- ・魚谷琴子 ・皆川叔子 ・片野加代子 ・浅原礼子 ・藤巻八寿子

ボランティア、福祉団体

- ・安藤マサ子 ・中山佐知子 ・中本文代 ・地域陶芸クラブ楽わん会
- ・地域陶芸クラブ器楽会 ・沖津裕巳 ・柴尾淳子 ・谷 容子
- ・山藤明子

2 . 第57回神奈川県社会福祉大会 (10月16日 : 県立青少年センター) の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 神奈川県社会福祉協議会会長表彰 (19人)

民生委員児童委員

- ・岩崎俊一 ・河間洋子 ・松田茂子

社会福祉施設従事者

- ・駒井 稔 ・野口憲一 ・大沼恵美 ・吉原 昇 ・渡邊文子
- ・齋藤由貴子 ・横尾奈美 ・大内貴光 ・野上靖子 ・杉山公子
- ・佐藤夕城江 ・剣持澄世 ・今井キヨ子 ・高野信一 ・辻本吉伸
- ・光野邦彦

(2) 神奈川県社会福祉協議会会長感謝 (2人)

社会福祉施設従事者

- ・服部優子 ・武井定光

(3) 神奈川県知事表彰 (3人)

ボランティア

- ・中村守夫

社会福祉施設従事者

- ・武井定光 ・竹澤光史

(4) 共同募金運動功労者表彰及び感謝 (11人)

神奈川県知事表彰

- ・杉山共郎 ・國安 孝 ・上原 薫

神奈川県共同募金会会長感謝

- ・遠藤 勝 ・石井安司 ・山本尊史 ・篠原 剛
- ・青木 修 ・市川正義 ・飯田 弘 ・鷲尾博子

3 . 平成20年度全国社会福祉大会 (11月17日 : 日比谷公会堂) の席上、次の方が顕彰された。

(1) 全国社会福祉協議会会長表彰 (1人)

社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者表彰

- ・露木昭彦

3. 地域福祉推進事業

1. 会員と賛助会員

1. 会員と会費

会員区分		会員数	金額(円)
1号会員	地区社会福祉協議会	23	156,700
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	80,000
4号会員	保護司会	1	12,000
5号会員	社会福祉施設	132	370,000
	(法人)	(28)	(84,000)
	(施設)	(78)	(234,000)
	(地域作業所)	(26)	(52,000)
6号会員	当事者団体	14	42,000
7号会員	社会福祉活動団体	15	45,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	3	-
合 計		216 件	716,700

2. 賛助会員と賛助会費

2.3 地区(300円未満の協力会員を含む)

賛助会員会費	62,409件	20,132,633円
(うち、特別賛助会員会費(1口5,000円)	87件	535,000円)
地区還元額(75%)		15,099,481円

3. 企業賛助会員と会費

企業賛助会員会費(市内の企業、事業所等の会員)

1口	5,000円	111社	645,000円
----	--------	------	----------

2. 地区社協会長(地区社協部会)役員会及び連絡会議(3回)

1. 役員会

(1) 平成20年6月17日(火)

- ・ 監査について(監事会も兼ねる)
- ・ 平成19年度地区社協部会事業報告・決算及び平成20年度事業計画(案)・予算(案)について
- ・ 地区社協会長変更に伴う役員等の交代について
- ・ 第1回地区社協会長連絡会の開催について
- ・ 第1回地区社協研修会について

(2) 平成20年11月26日(水)

- ・ 各種イベントの報告
- ・ 第2回地区社協会長連絡会の開催について

- ・第2回地区社協研修会について
- (3)平成21年3月23日(月)
 - ・平成21年度地区社協関係予算について
 - ・第2回地区社協研修会の報告について
 - ・地区社協概要について(改訂版の発行に向けて)
 - ・第3回地区社協会長連絡会の開催について

2. 連絡会議

- (1)平成20年6月25日(水)
 - ・平成19年度地区社協部会活動について
 - 事業報告について
 - 決算報告について
 - 監査結果報告
 - ・地区社協役員・市社協各種委員等の選出について
 - ・平成20年度地区社協部会活動について
 - 事業計画(案)について
 - 予算(案)について
 - ・平塚市及び平塚市社協からのお知らせ
- (2)平成20年12月8日(月)
 - ・各種イベントの報告
 - ・第1回地区社協研修会の報告
 - ・赤い羽根募金の報告
 - ・年末たすけあい募金の途中経過報告
 - ・平塚市七国荘の先取りについて
 - ・実録 振り込め詐欺犯人!
 - ・その他
 - 第2回地区社協研修会について
 - 地区社協関係顕彰について報告
 - 地区社協ライブラリーについて
 - 地区社協会長交流会、意見交換会
- (3)平成21年3月30日(月)
 - ・平成21年度 地区社協補助金について
 - ・平成21年度 地区社協概要の発行について
 - ・地区社協補助金交付報告書及び申請書の提出について
 - ・第2回地区社協研修会報告について

3. 地区社協活動支援事業

- 1. 地区社協活動支援補助事業 12,861,342円
地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。
- (1) 社会福祉基金事業 6,520,361円
 - ・地区社協活動推進事業(23地区) 2,332,978円
 - ・高齢者等サロン開催費(給食事業) 3,554,400円
 - ・高齢者等サロン、相談開催事業費 632,983円

(2) 共同募金配分事業	6,340,981円
・地区社協活動事業費(23地区)(赤い羽根募金配分事業)	2,499,981円
・協力者育成事業費(23地区)(赤い羽根募金配分事業)	1,629,000円
・地区ふれあい広場助成(23地区)(年末募金配分事業)	2,070,000円
・サロン事業実績地区助成(9地区)(年末募金配分事業)	142,000円

2. 地区社協活動支援事業

地域の福祉活動を推進するため、各地区社協の役員、スタッフそれぞれの役割や業務にターゲットを絞り、より実践的な研修会を開催した。

(1) 第1回目

開催日	8月6日(水)・8日(金)
参加者	2日間 延べ109人
内容	
1日目	マスメディアを活用した地区社協活動を上手にPRする方法について 地区社協だより作成のポイントについて
2日目	地区社協の会計課題について 各地区社協からの会計に対しての質疑について

(2) 第2回目

開催日	3月5日(木)・10日(火)
参加者	2日間 延べ78人
内容	
1日目	地区社協活動を上手にPRする方法 広報紙の作り方について講義・演習
2日目	地区社協の事業報告書・予算計画書の適正な記入方法について 各地区社協からの会計に対しての質疑について

4. 部会活動推進事業

社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成して円滑化を図った。

5部会	合計	400,000円
・地区社協部会		40,000円
・自治会部会		18,000円
・民生委員部会		54,000円
・保護司部会		27,000円
・福祉施設部会		261,000円
(内訳 部会運営費 81,000円 施設職員研修費補助 180,000円)		

5. 団体育成事業

1. 平塚市民生委員児童委員協議会	2,750,000円
住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を助長する目的で助成を行った。	
・実態把握活動費(年末募金配分事業)	1,550,000円
・点検活動費・民協活動費	1,200,000円

2. 平塚市自治会連絡協議会（年末募金配分事業）
共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成した。 350,000円
3. その他福祉関係団体へ活動費の助成を行った。（年末募金配分事業）
- | | | |
|-----------|------------------------------------|----------|
| 高齢者福祉 | 老人クラブ連合会事業費補助 | 90,000円 |
| 母子福祉 | 母子福祉なでしこ会事業費補助 | 45,000円 |
| 心身障がい児者福祉 | 身障団体等事業費補助 13団体
(1団体あたり36,000円) | 468,000円 |

6. 地域作業所補助事業

1. 地域作業所育成（社会福祉基金事業） 1,500,000円
- ・自動車購入費助成 福祉作業所こんぺいとう 800,000円
 - ・施設修繕改修費助成 障害者地域作業所山晃央園 700,000円
2. 地域作業所等事業運営助成（年末募金配分事業） 4,320,000円
- ・地域作業所の事業運営に対して配分
(1か所あたり 140,000円) 26作業所 3,640,000円
 - ・グループホーム、ケアホームの事業運営等に配分
(1か所あたり 90,000円) 7か所 630,000円
 - ・障がい児デイサービス事業運営に配分
(1か所あたり 50,000円) 1か所 50,000円

7. 子育て支援育成事業

1. 平塚市内で子育て支援を行っているグループ、またこれから行おうとするグループに対し、会の定着に必要な物品購入及び地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。
- ・27団体（赤い羽根募金配分事業） 1,045,000円
- | | | |
|-----|--------------------|------|
| 内 訳 | 1ヶ月の子どもの参加延べ人数 | |
| | 50人未満 (1団体20,000円) | 24団体 |
| | 年間事業実施回数(21回以上) | 7団体 |
| | 年間事業実施回数(10~20回) | 16団体 |
| | 年間事業実施回数(10回未満) | 1団体 |
| | 新規設立団体 | 3団体 |

2. 子育て団体支援事業

(1) 子育て支援団体情報交換会

開催日 平成20年6月30日(月)
会 場 平塚市勤労会館
参加者 42人 保育：3名

(2) 子育て支援研修会

開催日 平成21年2月24日(火)
会 場 平塚市勤労会館

講演 「子どもの感覚運動及びコミュニケーション・スキルの発達」
～ハンガリーの保育事情をふまえて～

講師 相模女子大学学芸学部 子ども教育学科
准教授 トート・ガーボル氏

参加者 128人 保育3人

(3) 子育て応援団体冊子配布、4,000部

(4) 「ふたごみつご達のひろば」 (赤い羽根募金配分事業)

開催日 毎月第4土曜日(都合で第3土曜日2回)年12回

会場 平塚市福祉会館 集会室

参加者 66組 239人(大人92人・子ども147人)

ボランティア 78人 総数 317人

(5) おもちゃ貸出し事業

市内で活動する子育て支援団体に無料で貸し出しを実施する。

貸出件数 21件

8. 地域特別事業

地域社会福祉活動をより一層強化、発展をはかるため、地域や団体で実施する特別な社会福祉事業に要した事業費の一部を補助するものだが、今年度の実績はなかった。

4. ボランティア活動推進事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

1. ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営委員会の実施

1. 平成20年6月20日(金)

- ・平成19年度事業報告及び決算について
- ・平成19年度ボランティア登録状況について
- ・平成20年度ボランティアグループ等活動助成金について

2. 平成21年3月27日(金)

- ・平成21年度事業計画及び予算について
- ・平成21年度ボランティアグループ等活動助成金について

2. ボランティアの相談斡旋

・ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアニーズ調整を行った。

相談日数 243日

相談時間 8:30～17:00

相談件数 763件

派遣延べ人数 631人

・ボランティア登録件数

個人 169人 団体 97グループ 3,150人 合計 3,319人

3. 調査・研究事業

ボランティアの実態調査

- ・福祉教育 ボランティア学習の取組み実態調査（個人）
- ・福祉教育 ボランティア学習の取組み実態調査（団体、グループ）
- ・市町村社協ボランティアセンター活動実態調査
- ・市民活動グループの把握について
- ・精神保健関連講座等の実施状況
- ・生涯学習ボランティア（人材）バンク並びに青少年ボランティア活動における実態アンケート
- ・市民活動グループ 団体動向調査
- ・ボランティア 市民活動支援機関調査

4. 広報啓発事業

- ・「ボランティア情報」を購入し、ボランティアリーダー・地区社協・地区民協及び、小・中・高校・専門学校へ配布した。 年12回
- ・「夏秋ボランティア活動ガイド」の作成・配布 1,000冊
- ・「冬春ボランティア活動ガイド」の作成・配布 500冊
- ・FM湘南ナパサへ情報提供
- ・ボランティアセンター廊下の掲示板活用
- ・ボランティアセンター内掲示板で報告書情報誌などの閲覧
- ・ビデオライブラリーの整備 保有数101巻（内DVD7巻）
- ・ボランティア活動相談基礎知識（新中学生へ） 58冊配布

5. ボランティア育成及び活動の推進事業

1. 夜間ボランティアスクール

一般市民を対象に、夕方（午後6時30分以降）の時間に社会福祉とボランティア活動の啓発を目的に開催した。

- | | | |
|-----|---|----------|
| 開催日 | 5月27日（火）～6月13日（金） | 全6回 |
| 時間 | 午後6時30分～8時30分 | |
| 内容 | ボランティア活動とは（講話）・車椅子操作法（講話・体験）
手話体験（講話・体験）
点字体験（講話・体験）
視覚障がい者誘導法（講話・体験）
施設見学（進和学園 進和あさひホーム）
緊急時の対応について（講話・体験）
ボランティアグループ紹介（ひらつか災害ボランティアグループ）
修了式 | |
| 受講生 | 4人 | 参加者延べ21人 |

2. 高齢者給食ボランティア研修会

栄養と食品衛生について学び、地区社協での献立を調理実習した。また、先進地区の

事例報告をし、地域での今後の事業を検討した。

開催日 8月29日(金) 参加者 26人
講師 平塚市健康・こども部健康課 河野管理栄養士
調理指導 金田地区社会福祉協議会・メロングループ

3. 平日ボランティアスクール

ボランティア活動を始めようとしている人・初心者の人・興味がある人を対象に社会福祉意識の啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的とした講座を開催した。

開催日 10月7日(火)～10月24日(金) 全6回
時間 午後1時30分～3時30分
内容 ボランティア活動とは(講話)・車椅子操作法(講話・体験)
点字体験(講話・体験)
手話体験(講話・体験)
視覚障がい者誘導法(講話・体験)
施設見学(進和学園 進和あさひホーム)
緊急時の対応について(講話・体験)
ボランティアグループ紹介(ひらつか災害ボランティアグループ)
修了式
受講生 19人 参加者延べ74人

4. 土曜スクール

学校などの土曜日の休みや勤労者の週休2日を利用して、学生から勤労者等、幅広い層を対象に、体験学習を中心とした講座を開催した。

開催日 1月24日(土)～2月28日(土) 全6回
時間 午前10時～12時
内容 ボランティア活動とは(講話)・車椅子操作法(講話・体験)
視覚障がい者誘導法(講話・体験)
点字体験(講話・体験)
手話体験(講話・体験)
施設見学(進和学園 進和あさひホーム)
緊急時の対応について(講話・体験)
ボランティアグループ紹介(ひらつか災害ボランティアグループ)
修了式
受講生 35人 参加者延べ119人

5. 精神保健福祉ボランティア講座

精神障がい者に対するの病気や障害について理解と基礎的なことを学ぶ講座を開催した。

開催日 7月5日(土)～12月13日(土) 全6回
時間 午前10時～12時
内容 医療の現場から(講話)
こころの病気とは(講話)
家族の立場から(講話)・当事者の立場から(講話)

カウンセラーの立場から（講話）
 通所施設の役割（講話）・当事者への支援制度について（講話）
 精神保健福祉ボランティア活動の実態について（講話）
 ボランティアグループ紹介（こんぺいとう）
 施設見学（富士見台病院）2回
 受講生 39人 参加者延べ205人

6. ボランティアグループ活動助成（社会福祉基金事業）
 58グループ 助成額 2,320,000円

7. 平塚ボランティア連絡会へ助成（社会福祉基金事業）
 助成額 171,000円

8. 専門ボランティア養成研修会（社会福祉基金事業）
 点訳、手話、要約筆記 助成額 228,000円

9. 実習、研修事業などへ協力
 学校、企業などにボランティア活動や体験学習の講師として協力した。

10. 平塚おもちゃ図書館
 障がい児と家族、ボランティアの交流の場として開館した。
 開館日数 49日
 利用者 278人

6. ボランティア啓発育成（社会福祉基金事業）
 小中高等学校福祉活動助成（小学校16・中学校15・高等学校5 計36校）
 助成額合計 857,000円

7. 録音・点字図書等の貸出し事業
 視覚障がい者の教養娯楽に供するため、各種録音テープ点字図書の貸出しをした。

・受入数		
録音図書（デイジー）	23タイトル	23巻
点字図書	17タイトル	67冊
・保有数		
録音図書（テープ）	1,792タイトル	17,144巻
（デイジー）	65タイトル	65巻
点字図書	233タイトル	934冊

・貸出し状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出し巻数
録音 テープ デジター	定期刊行物	794	794 (内訳 広報598、議会196)
	図書(テープ) (デジター)	88 47	827 47
	合 計	929	1,668
点字図書	定期刊行物	261	261
	図 書	227	892
	合 計	488	1,153

8. 車椅子の貸出し

保有台数	70台
延貸出件数	208件
延貸出日数	3,405日

9. 善意の寄託品

	寄託物品	寄託者	件数	配分先
1	車椅子(中古品)1台	個人	2	社協で市民貸し出し用
2	図書券1,500円分×15人分	湘南リビング新聞社	15	高校生以下の交通機関に配付
3	卓球台フェンス2基	平塚ライオンズクラブ	1	福社会館内
4	紙芝居(手作り品)12編	個人	2	子育て支援センター、学童保育
5	神奈中乗車券10枚綴り	個人	2	社協ボランティア活動に活用
6	車椅子(新品)4台	マックスパリュ東海(株) 平塚河内店、四之宮店	1	社協で市民貸し出し用
7	ルームランナー1台	個人	1	福社会館老人福祉センター
8	造花の花かご1籠 カラーボール66個	個人	1	子育て支援センター
9	「ふたごみつご達のひろば」看板2枚	(有)片孝看板店	1	市社協
10	ポータブルトイレ1基	個人	1	平塚栗原ホーム
11	お米2kg入り80箱	大山阿夫利神社	1	市内グループホーム、 ケアホーム
12	介護用シューズ1足、絵の具セット2組	個人	1	平塚栗原ホームほか
13	真木ことみコンサートチケット S席58枚	オー・エス・エム企画	1	福社会館老人福祉センター

5. 当事者援護事業

1. 要保護者援護事業

1. 要援護世帯等の慰問

生計困難世帯、在宅重度の身体・知的・精神障がい児者、原爆被災者の方に市受託金による慰問金を贈った。

	夏 期		年 末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
生計困難世帯	564件	3,688,000円	568件	4,337,000円 (年末募金配分事業)
在宅重度の身体・知的 ・精神障がい児者			2,141件	4,282,000円
原爆被災者	65件	325,000円		
合 計	629件	4,013,000円	2,709件	8,619,000円

2. 小・中学校入学祝金及び入学準備補助（社会福祉基金事業）

生計困難世帯の小・中学校入学児童へ祝金と学生服の購入補助をした。

なお、社会情勢を勘案し、今年度は祝金を1万円から2万円に増額支給した。

（3年間限定）

	祝金	被服購入費助成	
小学校入学	(10,000円 + 10,000円) × 2人 =	40,000円	(前年度追加分)
	(20,000円 + 10,000円) × 28人 =	840,000円	
中学校入学(男)	(20,000円 + 20,000円) × 31人 =	1,240,000円	
" (女)	(10,000円 + 25,000円) × 1人 =	35,000円	(前年度追加分)
	(20,000円 + 25,000円) × 28人 =	1,260,000円	
	計	90人	3,415,000円

3. 修学旅行支度費（年末募金配分事業）

生計困難世帯の児童で、小学6年生と中学3年生の修学旅行支度費の一部を次のとおり交付した。

5,000円 × 49人 =	245,000円	(小学校6年生)
10,000円 × 61人 =	610,000円	(中学校3年生)
計	110人	855,000円

2. 緊急援護事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

・旅費困窮者救護金（180件 × 300円）	54,000円
・行旅病人等旅費、食事代（7件）	8,000円
・休日、年末年始対応(市役所及び市民病院)バス回数券購入	3,000円
合計	65,000円

3. 高齢者福祉事業

1. 寝たきり高齢者等慰問事業（社会福祉基金事業）

在宅の寝たきり高齢者（要介護度4・5）等、対象者となる方に尿とりパッド贈呈
年2回 8月 258人 2月 282人 計540人 425,250円

2. 福祉電話料助成（社会福祉基金事業）

ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成 延べ36人（親機含む） 778,313円

4. 障がい児者福祉事業

1. 障がい児と保護者の慰安激励(ディズニーランドへバス4台)(赤い羽根募金配分事業)

参加者 47世帯 155人 1,088,878円（参加者負担金355,500円）

2. 点字図書購入費助成（社会福祉基金事業）

1・2級視覚障がい者に点字図書購入費の一部を助成 8件 71,800円

5. 児童福祉、母子・父子福祉事業世帯健全育成

1. 母子・父子世帯健全育成

母子・父子世帯の交流と慰安激励(ディズニーランドへバス2台)(赤い羽根募金配分事業)
参加者 33世帯 90人 584,266円（参加者負担金326,000円）

2. 青少年健全育成（年末募金配分事業）

社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成 180,000円

3. 地域交流事業助成（社会福祉基金事業）

公立保育園10園 180,000円

6. 災害見舞金支給事業

災害援護活動 40,000円（赤い羽根募金配分事業・たすけあい福祉資金配分金）
全焼(損) 20,000円×2件

7. 遺児援護事業

1. 交通遺児激励金

区分及び単価		支給時期	件数	支給合計(円)
県社協分	激励金 50,000円	小学校入学	2	100,000
		中学校入学	3	150,000
		中学校卒業時	1	50,000
高校卒業時		1	50,000	
	見舞金 100,000円	交通遺児発生時	1	100,000
小計			8	450,000
市社協分 (遺児基金事業)	激励金 15,000円	18歳以下の対象者 へ年1回	18	270,000

2. 一般遺児激励金(年末募金配分事業)

18歳以下の遺児に激励金 (1人10,000円)を配付	72世帯 児童数104人	1,040,000
--------------------------------	-----------------	-----------

8. 在住外国人共生事業

在住外国人生活支援実践活動への支援(年末募金配分事業)

日本語教室、子ども教室、生活相談の3部門構成にて、横内団地集会所における活動の支援を行った。横内プロジェクトへ事業費補助 200,000円

6. 貸付事業

1. 生活福祉資金貸付

低所得世帯、身体障がい者世帯等の自立更生、生活安定を図るため、申請を受付け次のとおり取扱った。

1. 取扱い内容

種類	件数	貸付金額(円)
修学資金	4	2,187,000
福祉資金	4	1,099,000
療養介護資金	2	986,000
緊急小口資金	1	100,000
合計	11	4,372,000

2. 離職者支援資金

平成14年度より、国の施策として、雇用の安定と新産業創出を目指した「総合雇用対策（産業構造改革・雇用対策本部）」により総合雇用対策の中のセーフティネット整備の一つとして、雇用保険制度の枠外にいる自営業者やパート労働者の失業や雇用保険の求職者給付期間の切れたことにより生計の維持が困難になった世帯に対して、生活資金を貸付ける「離職者支援資金」が創設されたが、申請がなかった。

3. 長期生活支援資金

平成15年度より、一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金を貸付ける制度として実施している。

件数3件 2,560,000円

2. 一時貸付

低所得世帯で一時的に生活等が困窮な世帯に次のとおり貸付けた。

平成20年度貸付金額 40件 1,408,000円

平成20年度中償還額（昭和58年度～平成20貸付分）延べ204件（内完納22件）

金額 1,088,000円

平成20年度未償還状況（平成20年度貸付分を含む）

	件数	金額（円）
貸付金額累計	890	33,641,200
償還済額累計	663	26,887,200
欠損処分額累計 （うち20年度欠損処分額）	73 (0)	1,910,000 (0)
貸付残額	154	4,844,000

7. 生活支援事業

地域においてさまざまな人々がさまざまな悩みをかかえて生活している。その生活福祉ニーズを解決するために、関係機関や社会資源を有機的に連携させながら、相談活動体制をはかるとともに、地域で発生した生活課題に対しても、地域に即した創意と工夫を行いながら支援を実施した。

相談事業

生活支援相談（月曜日～金曜日） 相談件数合計 49件

内訳

・暮らし住まい 49件

法律相談

弁護士による相談を実施した。

年11回 相談件数37件

8. 地域福祉権利擁護事業（ひらつかあんしんセンター）

福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある障がい者や高齢者等の生活を安定させることを目的に事業を実施した。

1. 相談援助活動

・問い合わせ、初回相談件数	97件		
高齢者(虚弱、認知症等)	71件		
障がい者	20件		
内 訳			
身体障がい			7件
知的障がい			6件
精神障がい			7件
その他(不明)	6件		
・相談援助活動	2,603件		
(他機関との調整含む)			
高齢者(虚弱、認知症等)	1,233件		
障がい者	1,351件		
内 訳			
身体障がい			134件
知的障がい			594件
精神障がい			623件
その他	19件		

2. 契約件数

契約件数 70件（新規契約14件、継続74件、解約18件）

内 訳	福祉サービス利用援助 ・日常的な金銭管理	書類等 預かり	契約人数
高齢者(虚弱、 認知症等)	38	13	51(11)
身体障がい	5	3	8(3)
知的障がい	11	4	15(2)
精神障がい	11	4	15(3)
その他	-	-	-
合計	65	24	89(19)

件数は個人を単位としている。

()は、福祉サービス利用援助サービス及び日常的な金銭管理サービスを利用している者のうち、書類等預かりサービスも併せて利用している者を示す。

高齢者、障がい者の区分は、契約時のものによる。

3. 訪問活動

・専門員等の訪問調査活動	延べ	645回
(生活支援員の定期報告分含む)		
・生活支援員の訪問及び活動	延べ	1,481回
(専門員代行分含む)		

4. 地域福祉権利擁護事業審査会

- ・開催回数 6回
- ・審査内容(単位:件)

対象者		項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	身体 障がい者	その他 ・不明	合計
審査内容	審査(契約・解約 ・支援計画等)		38	8	5	0	0	51
	相談・助言		6	4	1	0	0	11
	その他		33	4	7	2	0	46
審査合計			77	16	13	2	0	108

9. 子育て支援事業

1. 子育て支援センター

地域の子育て家庭に対する育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロンの運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域の保育ニーズに応じて地域の子育て支援関連機関との連携を図ること等を行い、地域の子育て家庭への支援を図るため、子育て支援センターを設置し、地域全体で子育てを支援する基盤を形成することにより、育児支援を図った。

- ・実施施設

豊田分庁舎(子育て支援センター)

- ・開設日 243日

- ・利用状況

利用総数 20,228人

来所実人員 19,995人

相談実数 2,570人

相談延件数 2,857件

* 相談者は来所者と重複する場合がある

相談内容 子どもに関する相談 2,021件

身体 937件 精神情緒 211件 生活 873件

親に関する相談 829件

子との関係接し方 418件 夫との関係 43件

家族関係 50件 母親の疾患 58件

母親の仕事 40件 社会参加 19件

近隣地域知人 46件 グループ活動 13件

その他 142件

視察等の受入れ 145人

- ・活動内容

出向、訪問等での相談 1件

相談以外の補完的援助 0件

- ・関係機関との連携・協力等 12件
- ・グループ支援 8件
- ・会議、研修、視察等の参加 37件
- ・おしゃべり会 4回
- ・スペシャルジョイフルタイム 12回

2. ファミリー・サポート・センター

地域において育児の援助を受けたい方と行いたい方を組織化し、相互の援助活動を行うことにより、安心とゆとりをもって子育てができる環境をつくる。平成15年7月1日より活動を開始した。

- ・実施施設 豊田分庁舎
- ・開設日 243日
- ・会員数

	平成20年度	累計
延べ会員数	150人	727人
支援会員	26人	214人
依頼会員	128人	536人
兼ねている会員	4人	23人

活動実績

- ・問合せ件数 3,004件
- ・事前、顔合せ件数 381件
- ・活動実績 2,743件(84件) 5,165時間21分(268時間20分)
- ()は休日対応

活動内容

- ・保育所、幼稚園登園前の預かり及び送り 69件
- ・保育所、幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 377件
- ・保育所・学校等休み時の援助 87件
- ・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 102件
- ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 129件
- ・保護者等の外出援助 154件
- ・子どもの習い事等の援助 335件
- ・保護者等の病気、その他急用の場合の援助 521件
- ・その他 969件

研修会等

支援会員講習会

第1回	6月12日	22人
	6月16日	14人
	6月17日	16人
第2回	11月14日	18人
	11月17日	15人
	11月18日	16人

支援会員フォローアップ研修会 「普通救命講習AEDを体験してみよう！」
 12月 1日 福祉会館
 支援会員 16名 依頼会員 1名
 会員交流会 「おりがみ風水」
 9月18日 福祉会館
 支援会員 8名 依頼会員 0名 保育 1名
 実行委員会 3回 延べ15名
 会員懇談会
 「おしゃべりしながらおりがみを楽しみましょう！」
 7月10日 福祉会館 10名
 「お茶を飲みながら おしゃべりしませんか？」
 3月26日 福祉会館 14名

10. 施設管理受託事業

1. 施設管理事業

1. 平塚市福祉会館、東部福祉会館白寿荘、南部福祉会館、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営について指定管理者制度における指定を受けた。

平塚市福祉会館での総合福祉センターとしての業務と東部福祉会館白寿荘、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの福祉業務など高齢者及び心身障がい者等の福祉の増進と生活向上を図り、南部福祉会館は、老人福祉センターと機能回復訓練用温水プールを備えた施設として、高齢者及び障がい者等の福祉並びに健康保持・増進に寄与するために次の事業を行った。

(1) 老人福祉センター等の利用状況（利用延べ人数）

	個人利用		団体利用			合計
	大広間	機能回復訓練室及び教養室	団体数	人数	日曜	
福祉会館 老人福祉センター	40,634	6,413	249	7,772	394	48,406
白寿荘 老人福祉センター	18,503	2,273	204	5,534	-	24,037
南部福祉会館 老人福祉センター	37,724	-	111	2,763	-	40,487
老人憩いの家 七国荘	318	-	135	4,186	-	4,504
合計	97,179	8,686	699	20,255	394	117,434

(2) 福祉会館会議室等の利用状況

高齢者・障がい者・福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため母子・家庭児童・

生活支援、各種相談の場を提供した。

会議室等の利用状況（延べ人数）

第一会議室	7,629	身障判定室	219
第二会議室	11,712	料理講習室	1,076
第三会議室	5,492	(A)相談室	0
第四会議室	2,337	(B)相談室	5
集会室	3,231	生活支援(C)相談室	49
奉仕活動室	2,173	ボランティアセンター	763
身障いこい室	2,068		
合 計			36,754

(3) 障がい者福祉の向上及びボランティア活動の支援

各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

福祉会館奉仕室等の利用状況（延べ人数）

点訳奉仕室	1,707	録音奉仕室	786
図書室	546	ボランティアセンター活動室	208
合 計			3,247

(4) 南部福祉会館会議室等の利用状況（延べ人数）

- ・会議室 172団体 3,495人
- ・ボランティア活動室 343団体 5,222人
- ・教養娯楽室 3,858人(老人福祉センター利用者と重複する)

(5) 南部福祉会館機能回復訓練用温水プールの利用状況

- ・登録累計 (個人) 3,410人 (団体) 22団体
- ・利 用 高齢福祉課事業 3回 35日 560人
- 健康づくり教室 3回 23日 389人
- シルバー教室 6回 47日 1,038人
- 個 人 22,163人
- 団 体 8団体 772人 合計 24,922人

(6) 健康相談（老人福祉センター利用時に血圧測定等を実施）

- ・福祉会館 2,583人
- ・南部福祉会館 2,015人
- ・東部福祉会館白寿荘 4,300人

(7) 在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営

平塚市から指定管理者制度の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

貸館について

- ・大会議室 63回 利用人員 1,603人
- ・小会議室 53回 利用人数 654人

（主な利用団体 平塚ろう学校、ひらつか地域介護システム会議等）

2. 高齢者・障がい者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障がい者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者趣味の講座・高齢者保健講座・身障者趣味の講座を開催し、11月に「福祉まつり」を行いその成果を発表した。

(1) 講座開催状況

高齢者趣味の講座

講座名	定員	回数	受講者数	延べ受講人数
やさしく学べる陶芸教室	15	3	9	25
体に優しく心地よい太極拳	20	10	57	447
健康を考えながらの健康体操(白寿荘)	25	7	26	146
伝統的なやさしい太極拳(七国荘)	20	10	21	145
合計	80	30	112	763

身体障がい者趣味の講座

落語を一席(視覚)	10	10	6	56
よさこいソラソラを踊ってみよう(聴覚)	20	8	9	37
合計	30	18	15	93

南部福祉会館趣味の講座

「源氏物語千年紀」に「源氏物語」を学ぶ	45	12	45	473
気を導く「導引養生功」	25	10	18	135
合計	70	22	63	608

総 合 計	180	70	190	1,464
-------	-----	----	-----	-------

(2) 福祉まつり(2. 広報啓発事業に掲載)

開催日 11月20日(木)~22日(土)

会場 福祉会館

(3) 視察・見学の受け入れ 合計 228人

福祉会館

・団体 2団体 65人
(看護学校・中学校)

南部福祉会館

・団体 4団体 64人
(看護学校・学校等)
・個人 99人

2. 福祉電話の連絡業務

福祉電話の基地として、ひとり暮らしの高齢者のために1日1回電話で連絡を行い、安否の確認をした。

対象者 31人 延べ4,880回 月平均 407回

3. 利用者懇談会の実施

会館利用について、利用者団体の方より意見をきき改善策を講じた。

参加者: 代表者6人

開催日: 10月23日(木)、3月18日(水)

4. 利用者の声

利用者の方々から意見や感想をきくために、各館にアンケート用紙を設置し回収箱に

投函していただいた。 合計 9 件

平塚市福祉会館に関すること

- ・卓球の利用時間について 1 件
- ・施設内外の全面禁煙について 1 件
- ・カラオケの開始時間について 1 件

平塚市東部福祉会館白寿荘に関すること

- ・カラオケ機器について 1 件
- ・2階ベランダの喫煙場所について 1 件

平塚市南部福祉会館に関すること

- ・プール内のベンチ及び更衣室内の手すりについて 1 件

老人憩いの家平塚市七国荘に関すること

- ・カラオケ機器について 3 件

1 1 . 在宅福祉サービス事業

1 . 介護保険事業

介護保険による次の事業を実施した。

1 . 居宅介護支援事業

要介護高齢者（介護保険対象者）の居宅介護支援計画を実施した。

・相談、調査件数

電話相談	3,137 件	来所相談	41 件
ケアプラン作成訪問	780 件	申請代行訪問	78 件
その他訪問	241 件	サービス担当者会議	167 件

・ケアプラン作成件数

内 訳	要介護 1	239 件	要介護 2	376 件
	要介護 3	201 件	要介護 4	175 件
	要介護 5	82 件		

年間 延べ 1,073 件

平塚市地域包括支援センターより受託し介護予防支援計画を作成した。

・予防計画作成件数

内 訳	要支援 1	0 件	要支援 2	48 件
-----	-------	-----	-------	------

年間 延べ 48 件

2 . 訪問介護事業

要介護高齢者（介護保険対象者及び予防介護対象者）の居宅介護支援計画に基づいて訪問介護（ホームヘルパーの派遣）事業を実施した。

・相談、調査件数

電話相談	623 件	訪問調査	664 件
------	-------	------	-------

・利用者数 95 人（訪問介護 44 人・介護予防訪問介護 51 人）

内 訳	要支援 1	19 人	要支援 2	32 人
	要介護 1	7 人	要介護 2	16 人
	要介護 3	10 人	要介護 4	8 人
	要介護 5	3 人		

・派遣回数 8,228 回

内 訳	身体介護	923 回	生活援助	1,564 回
	介護予防	2,900 回	身体生活	2,841 回

・派遣時間 10,527 時間

内 訳 身体介護 733.5時間 生活援助 1,936 時間
 身体生活 4,551 時間 介護予防 3,306.5時間

・訪問介護同行研修の受入れ

研 修 (受入日数 延べ 38日 受入人数 延べ 67人)
 県立平塚ろう学校 延べ 60人
 県立小田原高等職業技術校 延べ 4人
 神奈川社会福祉専門学校 延べ 3人

3. 通所介護事業

要介護高齢者(介護保険対象者)の居宅介護支援計画に基づいて通所介護(デイサービス)事業を実施した。

(1) 利用実績

・利用者数 100人(通所介護 77人 介護予防通所介護 23人)
 内 訳 要支援1 6人 要支援2 17人
 要介護1 15人 要介護2 20人
 要介護3 23人 要介護4 13人
 要介護5 6人
 ・利用回数 延べ5,342回(内訳 通所介護4,363回 介護予防通所介護979回)

(2) 年間行事

毎月の誕生会と季節にあった行事を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	11月	南原保育園との交流会、
5月	端午の節句	12月	クリスマス会
6月	七夕作品づくり、南原保育園との交流会	1月	どんど焼き
7月	七夕カラオケ大会	2月	豆まき、南原保育園との交流会
8月	夏まつり		家族会
9月	敬老週間	3月	ひなまつり

(3) 研修及びボランティアの受入れ

・研 修 (職場体験及び実習)
 (受入日数 延べ 23日 受入人数 延べ 54人)
 中学校 (江陽、春日野、大住、金旭)
 高等学校 (高浜、大原、平塚江南、二宮)
 大学 (大妻女子大学、東京医療保健大学)
 平塚ろう学校
 ・ボランティアの受入れ(日数 延べ 152日 人数 延べ 330人)
 一般の方
 崇善地区社協
 立野町老人会
 演芸等(アコーディオン、フラダンス、ハーモニカ、大正琴、折り紙、
 読み聞かせ、ギター、三味線、舞踊、茶道、琴)
 ・その他 (受入日数 延べ 38日 受入人数 延べ 226人)
 盲学校(あんま実習) 22日間 延べ 70人
 相談員 12日間 延べ 24人
 崇善小学校 1日間 延べ 42人
 南原保育園 3日間 延べ 90人

2. 障がい者自立支援居宅介護事業

障がい者自立支援制度による次の事業を実施した。

・電話相談 548件 ・訪問調査 137件

1. 居宅介護事業

身体、知的、精神障がい者(介護給付対象者)に対して居宅介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

・利用者数 49人(身障23人・重度身障1人・知的5人・障がい児1人・精神19人)
・派遣回数 3,752回
(内訳 身体介護 474回 家事援助 3,278回)
・派遣時間 5,184時間
(内訳 身体介護 529.5時間 家事援助 4654.5時間)

2. 重度訪問介護事業

重度身体障がい者(介護給付対象者)に対して重度訪問介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

・利用者数 1人
・派遣回数 (身体介護) 856回
・派遣時間 (身体介護) 1,479時間

3. 平塚市地域生活支援事業の移動支援

身体、知的、精神障がい者(介護給付対象者)に対して居宅介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

・利用者数 12人(内訳 身障4人・知的2人・精神5人・児童1人)
・移動支援派遣回数 362回
・派遣時間 305.5時間

3. 配食サービス事業

1. 平塚市ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業

家庭において炊事の支度をするのが困難なひとり暮らしのお年寄り等を対象に、夕食を各家庭まで配食するとともに安否の確認を実施した。

・配食数 延べ 5,692食
・登録者数(3月末登録者) 28人(男10人・女18人)

4. ホームヘルプサービス事業

平塚市在宅高齢者生活管理指導員派遣事業

介護保険において非該当(自立)と判定された方で日常生活を営むのに支障があり、生活支援が必要な高齢者に対して生活支援のホームヘルパーが伺い家事の援助を行った。また、活動に必要な、相談研修、連絡調整、及び事務手続等を行った。

・相談、調査件数
電話相談 5件 来所相談 0件 訪問調査 5件

ヘルパーの派遣に関する相談、訪問調査及び、他機関への連携、介護、健康についての相談援助を行った。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
生活管理 指導	3人	0人	3人	88日	88時間

2. 平塚市育児支援家庭訪問事業ヘルパー派遣業務

子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施することにより、当該家庭において安定した子どもの養育が可能となること等を目的に家事の援助を行った。

・利用状況

利用者数 4人 利用回数 延べ 58日 利用時間 延べ 99時間

5. 自主事業

市社協独自で行なうホームヘルパー事業を実施した。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
自主	21人	0人	21人	209回	246時間

・研修会の開催

全体研修 4回 延べ 120人

・予防検査の実施

ホームヘルパー全員に対して、0-157の検便を12回延べ360人に実施した。

6. 地域包括支援センター事業(ゆりのき)

在宅の高齢者の心身の特性を踏まえて、可能な限り居宅において、自立した日常生活を営めるよう配慮し、高齢者の選択に基づいた自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に提供することを目的とする。

サービスの提供にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、関係市町村、他の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組みを行う者等との連携に努め、富士見・崇善・松原地区を担当地区として以下の事業を展開した。

地域包括支援センターゆりのきの事業実績

・各種相談の実施

相談者	実人数	437人			
相談方法	来所	27人	電話	279人	
	訪問	24人	その他	107人	
対象者の状況	要支援	171人	要介護	43人	非該当 6人

東芝科学館・東急電車とバスの博物館	9月19日
富士湧水の里水族館	3月 5日
いちご狩り	5月 7日
映画鑑賞	5月26日/12月12日
ねん土の花講座	6月27日/7月11日
・保護者会 1回	5月28日
・閉所関連事業	
お別れ懇親会	3月19日
平塚市心身障がい者授産所閉所式	3月26日

2. ひらつか地域介護システム会議の運営

市社協が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として実施した。

1. ひらつか地域介護システム会議

・総会	1回	・幹事会	2回
・介護情報推進部会	0回	・サービス適正化推進委員会	0回
・サービス向上検討部会	6回	・監事会	1回

2. 事業別連絡会

・居宅介護支援連絡会	5回	・訪問介護連絡会	6回
・訪問入浴連絡会	4回	・訪問看護連絡会	5回
・通所サービス連絡会	6回	・福祉用具・住宅改修連絡会	6回
・介護保険施設連絡会	6回	・グループホーム連絡会	6回

3. ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

・居宅介護支援連絡会	「精神疾患への取組みとケアマネージメントの仕方」	1回
・訪問介護連絡会	「食中毒予防について」	1回
	「高齢者の低栄養と脱水について」	1回
	「介護技術2部制」	1回
・訪問入浴連絡会		0回
・訪問看護連絡会	「胃ろう」	1回
	「平塚市消防署救急隊との交流会」	1回
・通所サービス連絡会	「レクリエーション研修会」	1回
・福祉用具・住宅改修連絡会	「福祉用具におけるヒヤリハットについて」	
	「在宅における福祉用具の取扱方法」	2回
・介護保険施設連絡会	「職員のメンタルヘルスケア」	1回
	「相談援助技術」	1回
・グループホーム連絡会	「認知症介護基本編・ヘルパー2級の基礎知識」	1回
	「薬剤に関する基礎知識」	1回

4. 医師会との交流会

- 日時 平成21年3月19日(木)
参加者 111名 (内 医師11名)
テーマ 「在宅でのターミナルケア」
内容 ・それぞれの役割と課題をテーマにディスカッション
・ 質疑応答

5. ホームページひらつか介護情報ネットワーク(愛称ひらのすけ)の運営

<http://www.hiranosuke.or.jp>

3. 家族介護者交流事業

家族介護者リフレッシュ事業を実施した。

- ・平成20年9月5日(金)
「ミハイル・カンディンスキー ~ピアノリサイタル~」 45人
- ・平成21年2月10日(火)
「プレイバックシアター(即興劇)で見る“私の気持ち”」 32人

4. 転倒骨折予防教室事業

平塚市在住・在勤の高齢者が要支援・要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した日常生活が営めるよう支援するため、「平塚市介護予防事業一般高齢者施策転倒骨折予防教室」を受託し実施した。

- ・開催場所 平塚栗原ホーム3階大会議室
- ・開催日程
第1回 平成20年6月4日~7月16日 全7回 毎週水曜日
申込者数 27人 修了者数 22人
第2回 平成20年9月17日~10月29日 全7回 毎週水曜日
申込者数 37人 修了者数 22人
第3回 平成21年2月10日~3月24日 全7回 毎週火曜日
申込者数 34人 修了者数 24人

13. 基金管理事業

1. 社会福祉基金の受入額

区分	昭和56年度~平成19年度		平成20年度		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市拠出金	8	400,000,000	-	0	8	400,000,000
民間寄託金	8,018	540,486,660	183	13,883,470	8,201	554,370,130
合計	8,026	940,486,660	183	13,883,470	8,209	954,370,130

合計金額のうち60,033,310円は事業準備積立金

2. 取崩し・造成額 (円)

受入額	前年度までの 取崩し額	平成20年度 取崩し額	取崩し額合計	造成額
954,370,130	0	1,263,813	1,263,813	953,106,317

基金事業費の不足を補うために取り崩しを行った

1.4. 遺児等基金管理事業

1. 交通遺児等福祉基金

区分	件数	寄附金額(円)	基金総額(円)
交通遺児へ	11	691,753	56,372,408

2. 善意の寄附金

区分	件数	寄附金額(円)
児童福祉へ	13	36,719
心身障害へ	1	19,234
高齢者福祉へ	1	50,000
合計	15	105,953

1.5. 共同募金運動

1. 神奈川県共同募金会平塚市支会

市社協内に事務局をおき、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

1. 常任委員会 委員 16人

開催日 平成20年8月19日(火)

- ・平成19年度平塚市支会会計決算の承認について
- ・平成19年度平塚市支会特別会計決算の承認について
- ・平成20年度平塚市支会会計予算(案)について
- ・平成20年度平塚市支会特別会計予算(案)について
- ・平成20年度共同募金(赤い羽根)運動実施方針(案)について
- ・平成20年度年末たすけあい募金運動実施方針(案)について

2. 支会委員会 委員 51人

開催日 平成20年8月22日(金)

- ・平成19年度平塚市支会会計決算の報告について
- ・平成19年度平塚市支会特別会計決算の報告について
- ・平成20年度平塚市支会会計予算の報告について
- ・平成20年度平塚市支会特別会計予算の報告について
- ・平成20年度共同募金(赤い羽根)運動実施について
- ・平成20年度年末たすけあい募金運動について

3. 支会監事会 監事 3人

開催日 平成20年5月16日(金)

- ・平成19年度平塚市支会会計決算について
- ・平成19年度平塚市支会特別会計決算について

4. 募金額

募 金 名	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率
赤い羽根募金	21,440,000	21,697,985	101.2%
年末たすけあい募金	18,360,000	19,052,844	103.7%
計	39,800,000	40,750,829	102.5%

5. 平成20年度地区別赤い羽根・年末たすけあい募金運動結果表(単位円)

	世帯数	赤い羽根実績額	年末実績額	実績合計
富士見	4,470	1,168,974	1,182,660	2,351,634
崇善	5,702	945,005	954,670	1,899,675
松原	2,415	560,467	553,056	1,113,523
港	4,680	1,105,678	1,123,160	2,228,838
花水	6,200	1,241,562	1,285,218	2,526,780
なでしこ	2,279	613,969	609,812	1,223,781
八幡	2,564	529,779	543,850	1,073,629
真土	2,651	625,432	610,455	1,235,887
四之宮	3,350	820,890	823,596	1,644,486
中原	4,247	1,095,606	1,086,568	2,182,174
南原	1,719	419,830	430,530	850,360
松が丘	2,529	573,340	573,505	1,146,845
豊田	1,694	438,900	409,640	848,540
田村	3,600	898,650	895,338	1,793,988
大神	1,490	447,710	445,315	893,025
横内	3,383	688,283	694,440	1,382,723
城島	1,427	340,653	337,350	678,003
岡崎	2,983	746,082	671,410	1,417,492
金田	3,154	857,717	867,796	1,725,513
土沢	1,850	445,244	413,895	859,139
旭南	6,111	1,334,894	1,341,036	2,675,930
旭北	6,645	1,593,327	1,603,381	3,196,708
金目	4,417	1,250,633	1,259,523	2,510,156
その他		2,955,360	336,640	3,292,000
合計	79,560	21,697,985	19,052,844	40,750,829

6. 福祉作文コンクール

応募総数 133篇(内訳 小学生18校49篇 中学生12校84篇)

代表作品の中から次の作品が入選した。

- ・準優秀賞 「家族の絆」

平塚市立金旭中学校3年 二宮 麻美

- ・佳作 「わたしのお兄ちゃん」

平塚市立花水小学校4年 長友 明希

7. 災害義援金

災害救助法が発令されたため、福祉会館、南部福祉会館、白寿荘、七国荘、平塚栗原ホーム、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターの各窓口に募金箱を設置した。その他、個人や団体からお預かりした義援金を併せ、被災地の共同募金会へ送金した。

- ・富山県高波災害義援金 3月10日から4月25日まで福祉会館のみ

富山県へ 15,550円

- ・岩手県、宮城県内陸地震義援金 6月24日から7月16日まで

岩手県へ 63,386円

宮城県へ 63,386円

- ・富山県大雨、金沢豪雨災害義援金 8月11日から9月19日まで福祉会館のみ

富山県へ 7,084円

石川県へ 7,084円

- ・愛知県集中豪雨災害義援金 9月8日から9月29日まで福祉会館のみ

愛知県へ 1,500円